

渋田 最後になりましたが、いろいろな機会をとらえて、このような形のお話しとか、講演とかを経済資料協議会ですしどしやって欲しいですね。

杉本 いろんな話を記録して、とっておく必要がありますね。

渋田 細川さんとも前に話しをしたんですが、年計画で月に1回ぐらいでいいですかから何とか書誌講座を企画してみたらどうか。それこそ1世代、2世代の人たちを動員してお話を聞き、勉強していく。経済資料協議会だけではなく、もっと多くの大学図書館の方を対象にしてもよい。

細谷 私が社会科学古典センターでやった古典資料の講習会の主旨はそれなんです。あれは毎年やるように計画されたものです。あれは社会科学書誌学を将来目指しています。書誌学をやらなければ古典の目録作成や研究はできませんという主旨です。あれはあれで参加してもらってもよい。あなたの言われたようなやり方でもっと体系的な勉強の講座でもよい。

渋田 経済資料協議会の主催でもいいし、それも一年だけに終るのではなく、継続して、第1世代、第2世代から積極的にノウ・ハウを聞き出していく。

細谷 これは前からやってもいいと考えていたが、なかなか言い出す機会がなかった。スタッフもそろっていることだしやればいいでしょうね。

細川 それでは、時間もありませんので一応ここで終らせたいと思います。長時間どうもありがとうございました。

## 杉本俊朗先生略歴および著作目録

### 略 歴

大正2 (1913) 年10月1日	神戸市に生まれる
大正15 (1926) 年4月	武蔵高等学校尋常科入学
昭和6 (1931) 年4月	武蔵高等学校高等科文科乙類入学
昭和9 (1934) 年4月	東京帝国大学経済学部入学
昭和12 (1937) 年3月	同上卒業
昭和12 (1937) 年4月	東洋経済新報社編集局勤務
昭和15 (1940) 年11月	日本経済聯盟会対外事務局独逸経済研究部研究員
昭和16 (1941) 年6月	同会改組により財団法人世界経済調査会となる、同研究員
昭和23 (1948) 年5月	東京大学経済学部研究室社会科学辞典編集委員会編集主任

昭和24 (1949) 年 4 月	現職のまま東海大学教授
昭和26 (1951) 年11月	横浜国立大学経済学部助教授
昭和32 (1957) 年 6 月	同上教授
昭和38 (1963) 年 4 月	横浜国立大学附属図書館経済学部分館長
昭和39 (1964) 年 4 月	横浜国立大学附属図書館長 (昭和41年3月まで)
昭和54 (1979) 年 4 月	横浜国立大学定年退職
昭和54 (1979) 年 4 月	横浜商科大学教授

### 著作目録

#### 昭和11 (1936) 年

- 1 月 支那に関する最近の諸著作 (丸尾亮)\*, 図書評論 10号
- 2 月 マジャール『支那農業経済論』(田辺五郎), 図書評論 11号
- 4 月 「信用・地代・恐慌」—経済学の手引 (田辺五郎), 図書評論 13号
- 7 月 伊豆公夫『日本史学史』(大堀信夫), 図書評論 15号
- 〃 『満州評論』について (田辺五郎), 同上
- 9 月 『経済政策論』上巻—宇野助教授の好書 (大杉節夫), 図書評論 16号
- 〃 栗原藤七郎『日本に於ける独占資本と農業問題』(松本功), 同上
- 〃 最近資料流行のこと (A・B生), 同上
- 〃 ボクローフスキイ『全訳ロシア史』(今井隆次), 同上
- 〃 戸田武雄『機械の経済学』(小泉進), 同上
- 〃 支那問題に関する新刊数種, 同上
- 10月 奥谷松治『日本消費組合史』(井川文雄), 図書評論 17号

#### 昭和12 (1937) 年

- 2 月 奥谷松治『日本産業組合批判』(松本功), 図書評論 19号
- 〃 東商『支那経済年報 昭和12年版』(田辺五郎), 同上
- 〃 ヨールソン『資本主義貨幣制度論』(永井彰), 同上
- 〃 藤枝文夫『現代支那の根本問題』(今井隆次), 同上
- 4月～昭和15 (1940) 年10月 『東洋経済新報』『東洋経済経済年鑑』に執筆・編集
- 8 月 支那における封建論争 (奥村初雄), 図書評論 21号
- 〃 田中忠夫『支那現下の政治動向』(野村俊郎), 同上

#### 昭和15 (1940) 年

- 3 月 (訳) 大平洋問題調査会編『中国農村問題』, 岩波書店

\* 以下 ( ) 内は筆名である。

昭和19 (1944) 年

3月 (訳) F・H. キング『東亜四千年の農民』, 栗田書店

昭和21 (1946) 年

3月 (著書) インフレと財産税 (三宅晴輝), 新生社  
ク 財産税と金融資本と日銀, 新生 2巻3号

昭和22 (1947) 年

1月 借款に頼るフランス経済, 世界経済 2巻1号  
ク 英蘭銀行国有化の意義, 時論 2巻1号  
6月 英国労働党の夢物語, 世界経済 2巻6号  
12月 欧州経済復興計画の進捗, 世界経済 2巻12号  
資本主義安定の条件, 帝国大学新聞 1044号

昭和23 (1948) 年

3月 「健全財政」の展開とインフレーション, 潮流 3巻3号  
ク (訳) ソートン『紙券信用論』[渡辺佐平と共訳], 実業之日本社  
8月 イー・トラハテンベルグ『ケインズ経済学批判』, 経済評論 3巻8号  
先づ官僚民主化—金融業法案の難点を衝く, 東大新聞 1060号

昭和24 (1949) 年

1月 インフレーション論争, 経済評論 4巻1号  
1月~8月 (辞典) 社会科事典, 平凡社  
金融, 銀行, 資本主義, 世界経済, 物価, 利潤  
2月 日本経済の現段階と国際環境 (座談会), 国民経済 4巻2号  
5月 (辞典) 政治経済大辞典, 岩崎書店  
信用および信用制度  
7月 イギリス社会主義化, 経済評論 4巻7号

昭和26 (1951) 年

6月 (辞典) 経済学小辞典, 岩波書店  
金融政策, 金利政策, 公開市場政策, 資金統制

昭和29 (1954) 年

4月 従属下の信用体制 (渡辺佐平, 松成義衛と共同), 『日本資本主義講座』  
第4巻, 岩波書店

昭和30 (1955) 年

6月 (辞典) 経済学大辞典, 東洋経済新報社  
(ク) 世界大百科事典, 平凡社  
9月 (ク) 岩波小辞典 経済学, 岩波書店

昭和31 (1956) 年

1～6月 (編) 『講座信用理論体系』Ⅰ～Ⅳ, 日本評論新社  
信用理論文献目録, 同上Ⅳ所収

6月 刊行のことは, 経済学文献季報第1号

昭和33 (1958) 年

4月 『経済学文献季報』について, 書齋の窓 55号

昭和34 (1959) 年

10月～昭和56 (1981) 年12月

(訳) マルクス・エンゲルス全集, 大月書店

翻訳および巻統一者となられている巻: 第1～19, 21～25, 29, 37, 39,  
41巻, 補巻1, 3

昭和35 (1960) 年

2月～昭和37 (1962) 年4月

(辞典) 世界各著大事典, 平凡社

昭和36 (1961) 年

6月 (辞典) 資本論辞典, 青木書店

10月～11月 学術雑誌(人文・社会科学) 編集方法, ドキュメンテーション講  
習会—テキスト, 文部省

昭和38 (1963) 年

1月 二次文献作成者から見た学術雑誌の諸問題—社会科学, 第7回ドキュメ  
ンテーション講習会—テキスト

12月 (編) 資本論講座, 青木書店, 第3分冊資本の流通・再生産

昭和40 (1965) 年

6月 (編) マルクス経済学研究入門, 有斐閣

昭和41 (1966) 年

6月 (訳) マルクス『経済学批判』(国民文庫), 大月書店

昭和43 (1968) 年

4月 スラフャ編『リカード全集』, 経済学論集(東大) 34巻1号

昭和48 (1973) 年

11月 (編) マルクス=エンゲルス邦訳文献目録, 極東書店

昭和50 (1975) 年

11月 大内兵衛著作集 第12巻 学ぶにしかず 解説, 岩波書店

昭和52 (1977) 年

8月 アダム・スミス書誌解説, 経済資料研究 12号

昭和53 (1978) 年

3月 (監・訳) リカドゥ全集 第5巻, 雄松堂書店

昭和54 (1979) 年

3月 一編集委員の思い出, 『図書評論』復刻版・別冊

4月 (辞典) 大月経済学辞典, 大月書店

(以上, 杉本先生の略歴, 著作目録は横浜国立大学経済学部『エコノミア』の定年退官記念号にもとづき加筆し, 当日持参したもの。作成者 細川元雄)

## 細谷新治先生略歴および著作目録

### 略 歴

大正6 (1917) 年9月18日	東京品川に生まれる
昭和5 (1930) 年4月	東京府立第一中学校入学
昭和9 (1934) 年4月	東京商科大学予科入学
昭和12 (1937) 年4月	東京商科大学入学
昭和16 (1941) 年5月	同上卒業
昭和17 (1942) 年9月	法政大学商業学校教諭
昭和20 (1945) 年9月	東京産業大学東亜経済研究所調査員
昭和22 (1947) 年9月	東京商科大学副手
昭和24 (1949) 年5月	東京商科大学経済研究所助手
昭和26 (1951) 年5月	一橋大学東京商科大学講師
昭和28 (1953) 年4月	一橋大学経済研究所講師
昭和29 (1954) 年4月	図書館職員養成所講師を併任 (昭和39年3月まで)
昭和38 (1963) 年12月	一橋大学経済研究所日本経済統計文献センター助教授
昭和39 (1964) 年10月	図書館短期大学講師を併任 (昭和42年9月まで)
昭和45 (1970) 年4月~11月	大学図書館の視察および情報処理の研究のためソビエト, フランス, イギリス, アメリカ等へ出張
昭和47 (1972) 年6月	東京大学図書館情報学セミナー講師を委嘱
昭和48 (1973) 年2月	フランクリン・コレクション鑑定のためアメリカへ出張
昭和48 (1973) 年5月	一橋大学経済研究所教授
昭和48 (1973) 年10月	図書館短期大学講師を併任 (昭和55年9月まで)
昭和53 (1978) 年6月	一橋大学社会科学古典資料センター教授に配置換
昭和56 (1981) 年3月	定年退職